

再生

温泉井戸

洗浄工法で

全国会議所事業。プランで最優秀

福井商工会議所青年部会場で管更生・洗浄などのパイプ美人(本社福井市賞谷三丁目、鈴木健治社長)の鈴木和男専務が、全国商工会議所青年部連合会のビジネスプランコンテストでグランプリに選ばれた。



グランプリを獲得し、表彰された福井商工会議所青年部の鈴木和男(右)パイプ美人専務

福井工大と開発

福井 美人パイプ 鈴木専務

受賞したのは「日本の豊かな水資源を守る『深井戸洗浄事業』」。同社が福井工業大と共同開発した、井戸内壁に超高压水を噴射回転させて付着物を除去する「ユニバーサル洗浄工法」をさらに改良し、温泉用の深井戸洗浄に応用する事業計画。水資源を守るとともに、井戸洗浄の新たな市場開拓を狙った。創業家育成、新事業創出を目的にしたコンテスト「YEG第二創業支援プロジェクト」には、全国の商工会議所青年部から三十八プランの応募があった。審査の結果、グランプリ二、準グランプリ一が選ばれた。

同社は、福井工業大や神戸市の財団法人新産業創造研究機構と連携。井戸の堆積物簡素化除去システム工法や地下千二百メートル以上の温泉井戸で超音波カメラを使った視認技術の開発を進めている。

これらの技術を活用し消費井戸、水道井戸に加え二〇一〇年に温泉井戸の深井戸洗浄に本格参入。〇五年の売上高約千九百万円を一〇年には約八千万円に拡大する。

井戸を傷めず、薬品を使わないで安全に砂詰まりなどを除去して水量を復元させることや、掘り直しの必要がないなどコストを抑えられる点が特長。特に、温泉井戸の枯渇防止、観光資源の再生に寄与する点も新事業の大きなポイントとなっている。

地域情報化方策探る

県工業会などフォーラム

丸 岡

県情報システム工業会などは十日、丸岡町熊堂の県産業情報センターで地域情報化フォーラムinふくい(福井新聞社後援)を開いた。住民

題し基調講演。同県の情報ハイウエーの運用、活用策を紹介した。新免氏は「行政が整備した情報通信基盤を活用し、企業は活性化に取り組むべき」と話し、官で整備した情報網を広く民間に開放している同県の姿勢を強調した。

「官・民・産による地域e社会推進の取り組みについて」をテーマとしたパネルディスカッションでは行政、住民、産業界の四人のパネリストがそれぞれの立場で地域情報化を議論。

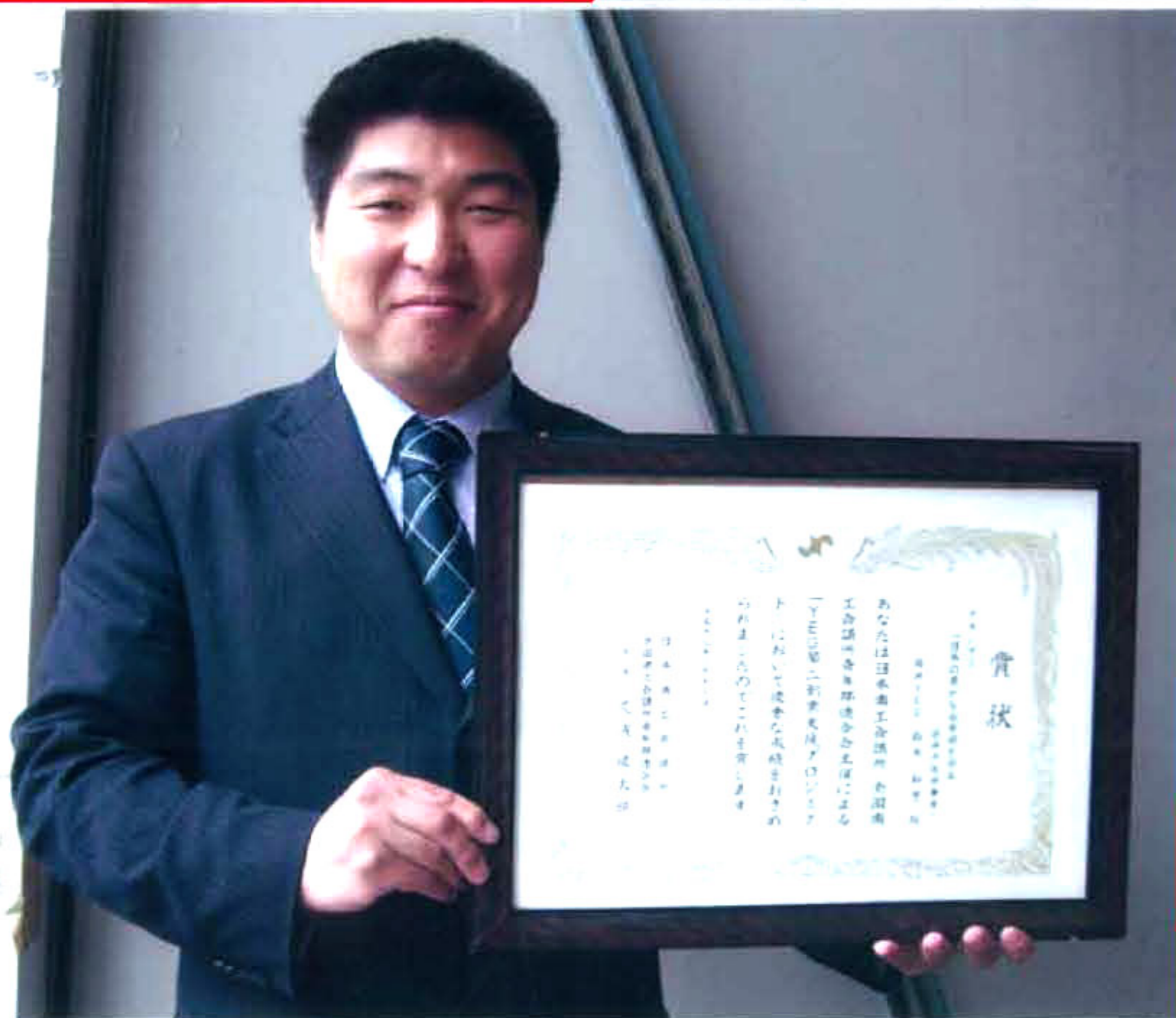
「福井西」が合併合意

4商工会 来春設立へ協定

合併基本協定書 締結式



福井市内の殿下、国見、清水町、越廼村の四商工会は、合併して来年四月一日に「福井西商工会」を設立することで合意。今秋の正式



丸岡町開かれ

福井市